

【第 1 号議案】 2016 年度事業報告・決算報告・監査報告承認の件

2016 年度事業報告

(2016 年 5 月 26 日法人成立の日から 2018 年 3 月 31 日まで)

1、フードバンク事業

個人や企業から消費するには十分に安全な食品等廃棄される余剰食品（食品ロス）を寄贈してもらい、地域の福祉施設・団体及び生活困窮者個人に提供する事業です。

事業開始初年度は、市民にフードバンクの存在を知ってもらうための講演会の開催や市民の集まるイベントに積極的に参加してフードドライブを呼びかけるなど食品寄贈活動を行う一方、地域の福祉諸団体と繋がって食品提供や情報の共有化に努めました。

(1) フードドライブ [別紙 1 参照]

① イベント・講演会での食品寄贈活動

こまエコ祭り（'16.6.5）、法人設立報告会&講演会（7.24）、ボランティアの集い（9.25）、狛江市協働事業市庁舎フードドライブ（10.17～21）、パルシステム狛江 S 環境祭り（12.3）中央公民館の集い（'17.3.8～12）の 5 回実施し、合計 471.3kg の食品寄贈がありました。

② 通年でのフードドライブ

- 熊本震災を機に市民活動支援センター「こまえくぼ 1234」に常設の寄贈ケースを設置してもらい、2016 年 6 月から約 114kg の食品が寄贈されました。
- 倉庫事務所に届く食品寄贈は他都市からの宅配便を含めて約 905kg で、最近では週 2 回の開所日に直接食品を持ち込まれる市民が増えています。
- また、連携企業 Kansei 様から 9 回 83.4kg、東京南部生協様から組合員の 2 回のフードドライブで 739.7kg、福島県産のお米を定期的に支援して頂く東京すずらんの会様など大口寄贈で約 1,294kg の提供がありました。

(2) 地域の福祉団体への食品提供 [別紙 2 参照]

- ① 2016 年 1 月に開設された狛江子ども食堂に続き、狛江市内に相次いで子ども食堂が立ち上がり、お米や調味料など 16 回、236.8kg を支援提供してきました。またフリースクール koppie、NPO 法人えるび、

グループホーム朋、遊育会狛江、世田谷嬉泉おおらか学園、狛江派遣村、府中派遣村、狛江共生の家、など地域の障害者（児）、子ども、高齢者、生活困窮者を支援する福祉団体と繋がって約 934.7kg の食品提供を行いました。

- ②熊本震災への支援として、2016 年 4 月 17 日から食料支援を開始し、6 月以降では 4 回 174.6kg を全国フードバンク推進協議会や直接フードバンク熊本と結んで提供してきました。また、狛江市安心安全課や市民活動支援センター「こまえくぼ 1234」とも連携して取り組みました。



10.16 市庁舎ロビーのライブ



市民活動支援センターこまエクボでフードドライブ

2、食のセーフティーネット事業

行政、社会福祉協議会、施設や団体、企業、市民、または学校などと連携協働して、生活困窮者に対して食料支援及び必要に応じた生活相談自立支援を行う事業です。

初年度では、これまで連携して来た狛江市の生活困窮者生活相談窓口こま YELL を通じた食料支援を実施してきました。また、直接電話や SNS で繋がった他都市からの SOS に対しても緊急食料支援として対応してきました。

(1) こま YELL を通じた緊急食料支援 [別紙 3 参照]

- ①活動初年度は、継続して提供するのに十分な食料を集める態勢にないことと自立を妨げないことを基本的に緊急支援として実施しました。法人として事業を開始した昨年 6 月から本年 3 月まで支援世帯は 78 世帯、提供回数 210 回（昨年 4 月からでは 118 世帯、233 回）でした。その内、月に一回だけの緊急支援は 74% で、こま YELL 相談員の判断で二回以上の継続支援は 26% でした。食品寄贈入荷量が増えて

きて、継続支援回数も少しずつ増えてきています。世帯構成では単身世帯が63%で2人世帯が21%でした。また母子家庭には5世帯提供しました。

②支援提供状況や問題点の共有化、フードバンク活動の取り組み課題を議論する場として、福祉相談課とこま YELL、フードバンク粕江の三者協議を2016年7月11日、10月5日、12月27日、2017年2月10日の4回開催しました。

(2) こま YELL 以外への緊急食料支援

ホームページ、facebook、新聞報道を見て他都市からの SOS や、市の他部署、市民からも連絡が入ります。電話やメールでは途中切られることもあります。状況を聞いて対応しました。継続して支援している3世帯を含めて28回、約300kgの食料を支援提供して来ました。

(3) 地域で食の支援を必要とする生活困窮者と繋がるために

粕江市の福祉相談課以外の地域福祉課や教育部など他の部署をはじめ、社会福祉協議会の各支援窓口担当者や食料提供している団体にもリーフレットを活用して情報の提供など連携を呼びかけました。



倉庫連絡事務所でこまメールさんに食料提供



他都市への緊急食料支援

3、フードバンクの普及・啓発事業

法人化と倉庫連絡事務所の開設によって、積極的な地域への広報活動に努め、講演会参加者や市民の食品寄贈の増加など大きな成果を上げることができました。

(1) イベント・講演会の開催

①2016年7月24日、NPO 法人設立報告会を粕江市の後援で「あいとぴあ助成」を受けて開催しました。また同時に山野良一氏を講師に「なくそう子どもの貧困」講演会を開催し、予想を超える133名が参加しま

した。地域への積極的な広報活動や、報告会では狛江市長や社会福祉協議会会長、狛江市議会議長の挨拶も受け、フードバンク狛江の認知度を高めることができました。

- ②世界食糧デーである10月16日には食品ロス問題専門家の井出留美氏を招いて「食品ロスとその活用」と題した講演会を狛江市市民提案型市民協働事業として実施しました。フードバンクの取り組む二つの課題として7月の貧困問題に続き、食品ロス問題をテーマとして開催し83名が参加しました。(冊子の事業報告参照)



「食品ロスとその活用」講演会の様子

(2) ニュースレターやホームページ、facebookなどでの広報活動

- ①ニュースレターは法人化以前からの通しで、2016年5月No.6、8月No.7、11月No.8、2017年2月No.9の4半期一回に発行しました。ホームページは7月にフードバンクの研究でボランティアとして関わってくれた日大商学部秋川ゼミ生に立ち上げてもらい、facebookも活用して活動の様子を随時伝えています。これによる困窮者からのSOSや食品寄贈、ボランティア希望の連絡も寄せられています。
- ②チラシやポスターの作成・配布をイベント・講演会開催に向けて実施した他に、狛江市内に日大商学部秋川ゼミ生が独自に6000枚のチラシを作成して戸別ポスティングを行ってくれました。また10月に狛江市公益事業補助金でリーフレット1000部を作成し、12月に1000部増刷して活用しました。その他、(株)和泉エンジニアリングサービス(東和泉)に専用掲示板を設置し、また支援者宅にもニュースなど掲示してもらっています。新聞報道では7月に東京新聞と読売新聞社、10月にも東京新聞に記事が掲載されました。
- ③フードドライブやイベント実施時にはフードバンクの活動を紹介するパネル展示を行いました。
- ④理事長に次の四つの団体からの講演依頼があり、パワーポイント資料を作成してフードバンク狛江の活動の広報をしました。東京社会福祉士会低所得者支援委員会、狛江市民大学、パルシステム東京狛江センター、小金井市社会福祉協議会。



市庁舎フードドライブでの展示パネル

4、フードバンク活動を普及するための調査・研究事業

今年度は7月講演会開催時と市庁舎ロビーでのフードドライブで参加者を対象にアンケートを実施しました。[別紙4参照]

5、倉庫連絡事務所機能の定着と組織基盤の確立

(1) 誰もが集える倉庫連絡事務所に

①2016年7月3日に自宅の食品を東和泉の倉庫連絡事務所に移して倉庫と事務所機能を本格的にスタートさせ、食品の区分整理と記録方法、入出庫のデータ管理方法や倉庫内の衛生管理を決めて実施しました。

②また、単に食料倉庫として在庫整理だけでなく、食品の受け渡しや打ち合わせに使ったり、連携団体や市民に寄ってもらえる場所となるよう努めました。



倉庫事務所で寄贈食品をチェックして記録

(2) 諸会議の開催状況

理事会は9回開催しました。また各イベントを会員などに呼びかけて実行委員会で行いました。そして10月の協働事業終了後の実行委員会で情報の共有化や活動予定などを話し合う場として、毎月オープンのボランティアスタッフ会議を設けることを決め、11月から5回開催しました。

(3) 会員拡大状況と事業資金確保の活動

①法人移行時の昨年6月に会員31名、賛助会員16名、賛助団体2団体でスタートし、今年3月末には会員44名、賛助会員27名、賛助団体6団体と拡大しました。*賛助団体は、いち亀、こまえ派遣村、3色パステルアート、千代田第一工業株式会社、トータス往診クリニック、藤田不動産株式会社です。

②事業資金の確保では、中央ろうきん社会貢献基金、狛江市社会福祉協議会あいとぴあ助成金、市民公益活動事業補助金を受けています。また(株)和泉エンジニアリングサービス、中日新聞社会事業団東京支部をはじめ個人24名、2社1団体から寄付金が寄せられました。

③地域の企業・商店にフードバンク狛江への賛助と連携の獲得を目的に訪問活動を年末から年明けに行い、短期間でしたが5名の会員、2名の賛助会員、賛助団体2社の拡大と寄付金を2社からいただきました。

6、2016 年度活動経過（2016 年法人成立の日より 2018 年 3 月 31 日）

2016 年 5 月 26 日	NPO 法人登記完了
6 月 2 日	狛江市長と面談
5 日	狛江市環境月間こまエコ祭りに参加しFD とポップコーン販売実施
22 日	こまエクボと熊本支援フードドライブの継続覚書交わす
24 日	第 1 回理事会
30 日	7.24 法人設立報告会&講演会第 1 回実行委員会
7 月 4 日	倉庫連絡事務所の開所始まる（毎週月、木曜）
11 日	福祉相談課、こまエールとの第 1 回三者協議
20 日	法人設立報告会&講演会第 2 回実行委員会
24 日	NPO 法人設立報告会&記念講演会「子どもの貧困」
26 日	全国フードバンク推進協議会加盟
8 月 5 日	第 2 回理事会
23 日	7. 24 法人報告会&記念講演会反省会
9 月 1 日	こまエクボと通常のフードドライブ窓口協力の覚書を締結
9 日	第 3 回理事会
6 日	提供食品の青かび発生問題、7 日福祉相談課長と協議して対応
15 日	協働事業「講演会&フードドライブ」の第 1 回実行委員会
16 日	東京南部生協組合員のフードドライブ食品入荷
25 日	ボランティアの集いに参加しFD とパネル展示を行う
10 月 5 日	福祉相談課、こまエールとの第 2 回三者協議
7 日	第 4 回理事会
8 日	狛江市消費生活展（くらしフェスタ）でパネル展示
9 日	祖師谷ウルトラマン商店街で日大商学部秋川ゼミ生とFD 実施
	協働事業「講演会&フードドライブ」第 2 回実行委員会
16 日	狛江市市民提案型市民協働事業「食品ロスとその活用」講演会
17 日~21 日	狛江市市民提案型市民協働事業市庁舎フードドライブ
25 日	協働事業第 3 回実行委員会
30 日	日大商学部砵祭でバザーと広報を実施
11 月 4 日	第 5 回理事会
22 日	第 1 回ボランティア会議
12 月 3 日	パルシステム狛江センター環境祭りでフードドライブ
9 日	第 6 回理事会
17 日	第 2 回ボランティア会議
27 日	福祉相談課、こまエールとの第 3 回三者協議
<hr/>	
2017 年 1 月 9 日	第 7 回理事会
17 日	第 3 回ボランティア会議
20 日	こま YELL 提供のお米にクリーム、寄贈米の基準を決める
2 月 10 日	福祉相談課、こまエールとの第 4 回三者協議
13 日	第 8 回理事会
17 日	2 回目の市長面談
	第 4 回ボランティア会議
3 月 8 日~12 日	中央公民館の集いでフードドライブとパネル展示
15 日	第 9 回理事会
24 日	第 5 回ボランティア会議
28 日	東京南部生協組合員の 2 回目のフードドライブ食品寄贈
